

こんにちは 中根さちの ハーフシター



日本共産党高知県議会活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内1-2-20
自民党 872-9224 高知市福中町1475-3

2022. 10. 16
NO. 746

県議会での論戦より

9月21日からの県議会も、10月14日開会。さいごまで、予算案の是非を向う論戦が続きました。本会議の代表質問に続き、二問一答での塚地・吉良両議員の内容をご紹介します。

学生支える県政必要

高知県議会 塚地氏が求める

日本共産党の塚地佐智・高知県議は4日、県議会で一般質問に立ち、コロナ禍での学生への支援などを取り上げました。体調不良の学生の自宅まで食料を届ける

日本民主青年同盟県委員会などによる「まんぷくEATS（イーツ）」の取り組みで、8月以降、コロナ感染で自宅療養する学生からの利用が急増。塚地氏は「一人ぐらしの学

生が孤立し、不安で深刻な状態で過ごしていることが明らかになったと指摘し、「一人ぐらしだと看病してくれる人もいない、いつ治るか不安」などの学生の声を紹介しました。浜田省司知事は「大変に胸が痛む」と答弁。

担当職員らが連携し、情報を共有しながら、個々の学生に応じた支援の体制がとられている」と答弁。この支援は県立大学、県立高知工科大学へのもの。他の大学にはおよ求めました。

～学生さんからメッセージ～

誰に頼った方がいいのかわからず家に食べ物もなくてとても困っていたので本当に助かりました。具合がよくなったら絶対ボランティア参加して恩返しさせていただきます！ありがとうございました！

急なお願いにも関わらず、色々なものをたくさん用意して下さい、メッセージまでありがとうございます。いつかにか恩返しできればと思います。本当に助かりました。

外出できず困っていたのでとてもありがたいです！大事に頂きたいと思います。おかげ様で自宅にて安静にできております。

コロナ禍、物価高で苦しむ学生や子どもたちを支える活動に焦点を絞って学生対象、子ども食堂活動について、又、理不尽な校則の見直しについても、県の対応を求めた質問をしました。

ビキニ被災調査急務

高知県議会 船員支援で吉良氏

日本共産党の吉良彦・高知県議は4日、県議会で一般質問に立ち、ビキニでの核実験被災者への支援の問題などを取り上げました。

吉良氏は2015、16年に実施したビキニ被災船員健康相談会にのべ30人の参加があ

ったが、地域のかかりつけ医が船員の自宅に出向く個別相談の形式に変更した19年から昨年までの3年間で3人の相談にとまっていたことをただしました。家保英隆健康政策部長は「集合形式の相談会の再開も検討していく」と答弁。

吉良氏は高齢化が進む被災船員の調査が急務だと指摘。前知事が明言した「太平洋核被災支援センターなどが追跡調査を継続的に実施していきけるような支援策」の進展をどう図るのかと質問。浜田省司知事は「関係団体への協力依頼など、県が側面から関与すること、スムーズに調査が進むものがあれば協力したい。県とセンター

が連携することで、被災者への支援の輪が広がることを期待している」と答えました。米軍機の低空飛行の問題で、吉良氏はオンラインルートやその周辺の市町村すべてに騒音測定器を備えることを求めました。浜田知事は「未設置の市町村から設置の要望があった場合には、必要性から検討して判断していきたい」と答えました。

(10月8日付赤旗しんぶんより)

※高知の高校生の調査活動から得た：ビキニ核実験被災者支援のヒコキ。核のおそろけと世に世界の認識を変えよう。と決まりました。
※低空飛行訓練は、なくならないか。ますますエスカレートしています。実態を資料には簡単に止めさせることか？平和への大きな一歩にもなります。

てくてく歩記 (743)
わたしの
大根くり(栗)やサツマ任。しほまろ納豆(納豆と切りほろりコンカン入った)が。秋のお宝が「茨城県の夫の兄から贈られて大よろこび。もうこんな季節だと再認識したとたん。寒くおきてきました。半袖ではもうダメだ!!と上着をひっぱり出しました。ふと、お厚いおを出して...なにかとせいなあ。